

# 社長と生命保険

企業経営者の重責は大変なものです。「法人」という言葉がありますが、これは法律によって人格を認めるということです。簡単に言ってしまうと、会社をつくるということは、子供を一人産んだということと同じです。企業経営者は、その子供の人生の全責任を持ち、企業経営の舵をとらなければなりません。

会社をつくる目的は、企業経営を通じて利益を出し続けていくことです。その途上において社長が亡くなれば、その舵取りを失うことになるわけですから、待ったなしで様々なリスクが会社を襲ってきます。

この様々なリスクに対しては、お金で解決しなければならないことが多いのが現実です。逆の言い方をすると、とりあえずまとまったお金があれば、急場はしのげるといことです。少ない掛け金で大きな保障が得られる生命保険の購入は、企業経営者の義務と考えても良いのではないのでしょうか。

